



28年 10月号

## 検査室だより

夏の終わりから「どんより」した天気の日が続いています。気分もすっきりしないし、洗濯物はジメジメだし・・・太陽が恋しくなってきました。高く青い空、澄んだ空気。秋よ早く来い！

リオデジャネイロオリンピック、パラリンピックも閉幕しました。「ジカ熱」の大きなニュースもなくホッと一安心・・・と思ったのもつかの間、「はしか」が流行りだしました。今回は「はしか」についてです。

「はしか」はウイルスによる感染症で「麻疹(ましん)」とも呼ばれています。感染すると約 10 日後に熱が出ます。咳や鼻水も加わって風邪のような症状になります。その後、もっと熱が高くなって身体中に赤いポツポツができます。この頃には更に、下痢になる人もいます。大体一週間くらいすると、だんだん身体のポツポツが消えて熱が下がってきます。非常に強力なウイルスで先進国でも1,000人に1人が死亡すると言われています。感染力もかなり強く、マスクや手洗いでは予防ができません。麻疹ワクチンの予防接種が最も効果的と言われています。しかし、予防接種を受けていても「はしか」にかかることがあります。過去に一度でも「はしか」にかかったことがある人はしっかり免疫ができて二度目にかかることはありません。10年ほど前までは年間の「はしか」患者数が1万人を超えることもあり、外国から「ウイルスを輸出している！」と非難されることもあり、ありました。予防接種の推奨などで、2015年3月、WHO(世界保健機関)から「麻疹拜国」(日本には麻疹ウイルスはないよ)と認められました。しかし海外からの「輸入」で去年は35人の患者が報告されました。今年はなんとすでに82人の患者が報告されています。(9月4日現在)



母子手帳を確認すればワクチン接種の有無がわかります。わからない場合は医療機関で血液検査で調べることもできます。年齢にかかわらず重症になることがあります。また妊娠中は大きな問題になるので注意が必要です。

「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」どの「秋」にしましょうか。体調を崩さないように素敵な「秋」にしてください。

公衆保健協会 検査室

